

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の名称

「帝塚山大学」との連携による子育て・障害者・社会地域支援計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

奈良県

3 地域再生計画の区域

奈良県の全域

4 地域再生計画の目標

奈良県においては、平成17年の合計特殊出生率が1.12（全国46位）と低く、急速に少子化が進むとともに、核家族化、高齢化も進み、地域の人々同士の多様なふれあいの機会が乏しくなっている。また、近年、全国的なニュースにもなった奈良市内の小学校の女子児童殺害事件や磯城郡田原本町で長男の自宅への放火により家族が死亡した事件等、児童・高齢者・女性等を狙った犯罪や未成年によって引き起こされた重大な犯罪が発生し、地域住民の生活不安や育児不安が極めて大きくなりつつある。さらに社会経済の著しい発展による労働環境の複雑化により、労働者のストレス問題が全国的に深刻化している。

そこで奈良県では、心のケアとサポート教育に関する取り組みが平成18年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に採択された帝塚山大学心理福祉学部及び同大学内に設置された「心のケアセンター」と連携し、地域の教育力の活性化及び安心・安全で潤いのある地域社会の創造に向けて取り組んでいく。

具体的には、児童の発育や育児に関する悩みの解決等に取り組む「子育て」、障害者・高齢者の自立支援やケア対策に取り組む「障害者」、職場における心の健康管理や犯罪被害者の精神的な負担への対策に取り組む「社会・地域」の3つの視点からアプローチを行い、大学の有する専門的知識を活用した幅広い人材育成を行うことによる地域の教育力の活性化を目指すとともに、ストレス増大による心の病気の悪化を予防し早期に対応できる体制構築及び周辺環境や社会から

既に受けているストレス等の問題を解決できる直接的なサポートを実施することによる安心・安全な潤いのある地域づくりを目指す。

なお、同大学は、奈良県吉野郡十津川村において、行政職員・教員・学生との共同で高齢者・障害者への現地訪問調査や質問紙調査等の「十津川プロジェクト」を実施しており、地域福祉について取り組んでいる。この「十津川プロジェクト」においては、「大和路情報ハイウェイ」と呼ばれる通信網に接続し、インターネットを利用することにより、遠隔指導等を実施する予定であり、平成19年度には、試験的に十津川村と帝塚山大学でその遠隔指導を行う。同様に生駒市においては、子育て支援として教育委員会とも連携し、同様の遠隔指導を行う。

(目標) 心のケアやカウンセリングに関する専門的知識を習得した人数
累計 1,500人(平成22年度)

5 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

奈良県においては核家族化・少子化・高齢化が進み、また、近年、児童や高齢者・女性等を狙った犯罪や未成年による重大な犯罪が発生し、地域住民の生活不安や育児不安がきわめて大きくなりつつある。そこで奈良県では、「子育て」「障害者」「社会・地域」の多角的な視点から、帝塚山大学と連携し、心のケアに関する課題解決を目指して、「人材育成」「体制づくり」「活動実践」の3つの方向で取り組みを図る。

「人材育成」では、福祉行政職員の児童虐待への迅速な対処能力や子育てに関するカウンセリング技法の向上、障害者ケアマネジメント、職場におけるメンタルケア等に関して、大学教員による専門的なセミナーを開催し、関係職員の資質向上を通じて、育児等の不安解消を図る。

「体制づくり」では、大学の人的資源・知的資源を活用して、市町村の地域福祉計画のモデル策定や、児童・障害者のサポート機能の向上を目指した取り組みを行うとともに、職場のメンタルケアに関する計画の策定や情報システムの構築を行うなど、各方面にわたる課題に適切に対応し、ストレスや病気を予防できる環境づくりをすすめる。

「活動実践」では、学校不適応児童や障害を持った児童に対して、大学の専門職員と連携して、直接的に、ストレスの軽減や自立の支援などに向けた取り組みを行い、効果を検証するとともに、普及を図る。

上記の3つの方向で、効果的かつ効率的に事業に取り組み、人々が健康で長生きでき、住み慣れた地域で安心して暮らせる安全な地域づくりを目指す。

5-2 法第四章の特別の措置を適用して行う事業

該当無し

5-3 その他の事業

【B0802】現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）（文部科学省）

①事業名称

「心のケアとサポート」人材養成と自立支援

②実施主体

帝塚山大学

③実施期間

平成18年10月～平成21年3月

④取組内容等

奈良県を中心とする京阪奈地域において、「心のケアとサポート教育」研究に取組むことにより、地域でのリーダーと専門的職業人育成のための教育を実現する取組である。帝塚山大学の立地する奈良県及び京阪奈地域では、少子化、高齢化が進行し、また、近年、児童や高齢者・女性等を狙った犯罪が多発し、地域住民の生活不安や育児不安がきわめて大きくなりつつある。そこで帝塚山大学では、心のケアセンターを中核として、心理福祉学部と大学院臨床社会心理学専攻が一体となって、1)「子どもと保護者への発達・教育支援を通じた地域の教育力の活性化」、及び、2)「市民へのケアと自立支援を通じた安心・安全な社会の創造」を目的とした実践的教育を展開するものである。

6 計画期間

認定の日から平成21年3月末まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

地域再生計画の目標については、計画終了後に必要な調査を行い、状況を把握するとともに、達成状況の評価の検討等を行う。

8 地域再生計画実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当無し